

校訓	真善美	平成28年度学校だより	発行日	平成29年2月17日
教育目標	自主、自立、感謝の精神を抱き、 未来を拓く生徒の育成 —豊かな心、確かな学力、健やかな体を育てる—	「荒中だより」 第37号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 難波 重之

あいさつ

先日、生徒指導の秋山先生が、職員朝礼の時に、「寒い日が続いていますが、寒い時こそ早めに外へ出て、登校してくる生徒に笑顔であいさつしましょう」と呼びかけていました。朝の始まりを爽やかなあいさつでスタートすることができたなら、その日はよい一日になる気がします。

あいさつとは、漢字で「挨拶」と書きます。「挨」という字は、「開く」や「たたく」という意味があります。一方、「拶」という字には、「近づく」や「^{せま}迫る」という意味があります。つまり、あいさつは、「心を開いて相手に近づく」という意味なのです。あいさつをすることによってお互いの心の扉^{とびら}が開き、関心と好意を持っていることを伝えることができます。そして、あいさつをする時は、「相手より先に」、「相手の目を見て」、「相手の心に働きかけるように」すると気持ちのよい関係を築くことができます。ぜひ心がけてください。



朝のあいさつである「おはようございます」は、「早くから元気に精を出して立派ですね」と相手を称賛する言葉だと言われています。しかも、「はよう」の前後に、「お」と「ございます」という敬語を使い、相手を思いやる心から生まれた美しい言葉なのです。他にも、食事の前に「いただきます」と言いますが、これには



「命をいただく」という意味があります。また、「ごちそうさま」の「馳走^{ちそう}」とは、「^か駆け回る」という意味です。食事が食卓にのるまでに、育てた人、運んだ人、調理した人など多くの人が^{かか}関わり、駆け回って用意されたということ

です。その関わった全ての人への感謝の気持ちを表しているすばらしい言葉なのです。日ごろ何気なく使っているあいさつには、それぞれに深い意味があります。この機会に再認識し、ぜひお互いが気持ちよく過ごせるように取り組んでください。

【 1年生マナー教室が行われました 】

2月10日(金)、講師にボイス・トレーナーの池本美代子先生をお迎えして、トライやる・ウィークにむけて、1年生を対象に『マナー&言葉づかい講座』が行われました。第一印象の大切さや身だしなみ、あいさつや物の受け渡し方、敬語の種類などを、演習を交えて明るく楽しく、エネルギーに満ちたご講演いただきました。

「第一印象は、見た目3秒で決まる」や「心は形にしてはじめて伝わる」「マナーとは、相手のことを思いやり自発的に行う言動のこと」など、とてもためになる演習でした。この講演で学んだことを、トライやる・ウィークだけではなく、日々の生活でも実践してほしいと思います。



オープン・スクール週間 ありがとうございました

2月6日(月)～10日(金)までオープン・スクールを行い、およそ50名の保護者、地域、教育委員会の皆様にご来校いただきました。また、7日(火)にはおよそ120名の方に参加していただき新入生保護者説明会を行いました。4月の入学を楽しみに待っております。ご来校いただいた方からのご感想やご意見を以下に掲載します。

- ・生徒の皆さんからあいさつをしてもらい、「荒中のみんなはいい子たちばかりやなー」と、とても良い気持ちになりました。これからもこの素直さのまま成長してもらいたいです。(1年保護者)
- ・みんな集中しており、とても静かな授業で感心しました。(2年保護者)
- ・普段の生徒の様子を見ることができて良かったです。中学生はまだまだ甘え足りないのかもしれないですね。先生方、お疲れ様です。いつもありがとうございます。(1、3年保護者)
- ・コミュニケーション・トレーニングは、これからの社会で生きていく生徒たちにとって、たいへん有意義な取り組みだと思います。しっかりと力がつくように、継続されることを願います。(教育委員会)
- ・生徒たちはしっかりと授業に取り組んでいると思います。ただ、「めあて」の内容や、授業をする側の見通しに関しては、もう一工夫が必要だと感じました。(教育委員会)

自信と誇りを持てる学校を創ろう!!